



年 組 名前

# 道新でワークシート

## 今日の話題



わずかに数秒の出来事だった。球を受け取った選手が一瞬立ち止まってお辞儀。ボールキッズの表情に笑顔が広がった。8日神戸で行われたラグビーのワールドカップ、南アフリカ対カナダ戦的一幕だ。お辞儀したのは南アのブリッツ選手。その映像は公式ツイッターで世界中に広がり、真の親善大使と称賛を浴びた。

**お辞儀の効能**

今大会では試合後、スタンドに向かい、日本式のお辞儀をする選手の動きが広がる。先駆けとなったニュージーランドのリード主将は「日本の皆さんとつながりたかった」という。喜怒哀楽の感情を周囲の人と分かち合う。慣習に基づく儀式的行為には、さまざまな思いが込められる。お辞儀もその一例だ。

人生が、合理性だけに支配されるようでは味気ない。球の受け渡しで交わされた笑顔が、何よりの証左だろう。

哲学者ウィトゲンシュタインは「人間は儀式的動物である」といった。人類が儀式と無縁でいられたことはない。長年培われてきた民族的慣習や伝統に根付く儀式は、文化の核だ。

近年、結婚式や葬儀の簡素化が進む。儀式の軽視と批判の一方で形式だけを重んじる儀礼的という言葉もある。結局、どれだけが、よりどころとなる思いがあるかが肝心ということか。

明日は天皇陛下の即位に伴う即位礼正殿の儀。現憲法下では2度目となるが、政教分離や国民主権を巡る議論は深まらなかった。

伝統を守るにせよ、無批判な前例踏襲では、儀式が儀礼的なものになりかねない。(田中 祥彦)

2019. 10. 21

2019年10月21日(月)夕刊 全道版 1ページ

①記事の中に、たくさんの熟語が使われています。例にならって、次の構成の熟語を一つずつ探しましょう。

例) 「2+2」の熟語      解答例) 親善大使 (親善+大使)

(1) 「2+1」の熟語

(2) 「1+2」の熟語

(3) 「1+1+1+1」の熟語

(4) 「1+2+1」の熟語

②この記事を執筆した田中さんは、この記事を通して一番伝えたかったのは、どのようなことだと思いますか。最も近いと思うものを選びましょう。

- ア 日本式のお辞儀をしてくれた外国のラグビー選手は真の親善大使と言うべきである
- イ 「人間は儀式的動物」であるから、長年培われてきた民族的慣習や伝統に根付く儀式を大事にしなければならない
- ウ 結婚式や葬儀のような儀式は、そのよりどころとなる思いが大事である
- エ 形式だけを重んじる儀式は、もっと簡素化してもよい
- オ 儀式の軽視は、伝統や文化を壊すものであるから、やめた方がよい
- カ 即位礼正殿の儀について、伝統を守るにせよもっと議論を深め、無批判な前例踏襲の儀礼的な儀式とするべきではない